



こんな質疑が交わされました お金のかかる公共事業を重点質疑

下水道事業 特別会計

どうする下水道

問 平成28年度下水道の管路整備をしなかった理由は。

答 下水道の統廃合については過去、議会に提案・協議してきましたが整備については一旦休止とし、まずは統廃合を進めることでご理解をいただきたいと思っています。

農業集落排水処理事業 特別会計

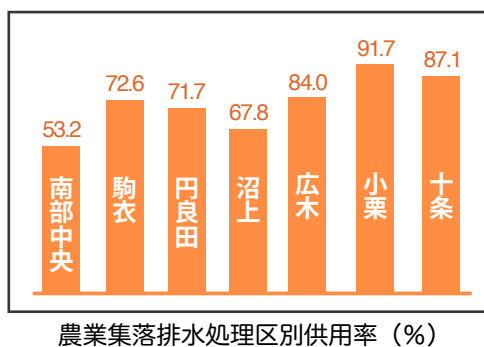
供用増で安定運営

問 農業集落排水の供用率の向上策は。

答 農業集落排水に加入されていく、未接続の方に対しては、定期的にダイレクトメールを送付し、早期接続のお願いをしています。

問 処理区内で新築された方に対し、どのような対応を行っているか。

答 建築に際し、敷地に面した道路に下水道本管が通っていれば加入をお願いしています。下水道本管の延伸が必要な場合は、延伸費用は個人負担になります。



農業集落排水処理区別供用率 (%)

統廃合に向け一歩

問 公共下水道への統合検討業務委託料について。

答 将来的に、統合したほうが町として費用負担が少なくなると試算し、統合を進めています。受益者負担や料金体系については、上下水道審議会

や議会と協議していきます。

水道事業会計

問 県道本庄・寄居線配水管布設工事が予定されていたが、中止になった理由は。

答 県と協議した結果、榛沢川の添架について強度不足により添架することができないため中止しました。

水道庁舎の活用

問 職員が4月から役場庁舎へ移転したことにより、今後、水道庁舎の活用について検討したのか。

答 現在、企業債を借入れ返済中です。目的外の利用はできないので、ほかによ



北東から見た水道庁舎

うな活用方法があるか検討していきたいと思っています。

災害対応策は

問 災害時の水の確保について。

答 水道水をどのようにして確保し給水するのか、今後具体的に検討していきたいと思っています。

繰入金は適正か

問 他会計補助金を7000万円ほど繰り入れているが、今後の対応は。

答 今後、未処分利益剰余金※の取扱いを検討し、将来に備えていきたいと思っています。

※【未処分利益剰余金】

一般的には、前年度繰越利益剰余金に当年度の純利益を加算したものです。

ただし、水道事業会計においては、会計制度の改正に伴い、補助金等により取得した財産の減価償却済みの部分について、償却済み相当額を利益剰余金に振り替えることとされました。これにより、累積欠損金は解消され、多額の前年度繰越利益剰余金が残存することとなりましたが、この剰余金については、経営が好転したことによる利益とは言えません。